

平成 23 年 9 月 22 日

宮城県における被災者の健康調査の結果について（中間報告）

調査の概要

宮城県内の被災者を対象に、健康状態について長期間追跡調査を行い、被災者の健康管理ならびに今後の災害対策の立案に活用する。（東日本大震災被災者の健康状態に関する調査研究（厚労省研究班：別紙参照）の一部として実施）

調査対象

- ・ 石巻市の雄勝地区・牡鹿地区の 18 歳以上の被災者を対象に調査を実施。

	調査期間	対象者数	受診者数	平均年齢	男女比
雄勝地区	6 月下旬	1708 名	564 名	62.6 歳	45:55
牡鹿地区	8 月上旬	1301 名	835 名		

18 歳未満の受診者については、現在分析中。

結果概要

1. 健康診断

健康診断（血圧、尿検査、血液検査（赤血球数、ヘモグロビン、ヘマトクリット、HbA1c、総コレステロール、肝機能、クレアチニン、尿素窒素）、聴診（心音）、身体測定、握力測定）の結果、被災者における異常値の出現頻度に特段の特徴は認められなかった。

2. アンケート調査

アンケート調査の結果、以下の内容が明らかになった。

- ・ 震災により、高血圧等の慢性疾患や歯科疾患等、中断した医療があった。
- ・ 食事回数は保たれており、喫煙や飲酒については震災後に摂取量の増えた者が若干見られた。
- ・ 震災前に仕事をしていた人のうち、54.5%が失業、転職などあらたな仕事を始めた人は、5.5%であった。
- ・ 6 時間以上の睡眠を取っていた被災者の割合は、65.3%であり、比較的睡眠時間は確保されていると考えられたが、睡眠障害を疑う者の割合は高かった。
- ・ 一般の方々と比較して、こころの健康に関する項目で不安や抑うつ症状が認められる割合が高かった。
- ・ 他者とのつながりは保たれていた。

今後の対応

- ・ 調査を継続し、引き続き被災者の健康を管理するとともに、健康状態の悪化が懸念される被災者については、必要な支援を行う。
- ・ 今回未実施の、小児の分析や震災前の健診データとの比較、被害状況と健康状態の関連などについても分析を進める。